



The University of Hawaii
Spring Law Course 2015
2015 年度 明治大学 法学部
ハワイ大学春期法学研修
報告書



ハワイ大学春期法学研修

https://www.meiji.ac.jp/hogaku/govern_special/hawaii.html

発行：明治大学法学部

目次

1. 教員あいさつ	2
2. ハワイ大学の紹介	3
3. プログラムの紹介	4
4. ハワイでの生活	5
5. ハワイの魅力	6
6. フィールドトリップ	7,8
7. レクチャー	9,10
8. スケジュール	11
9. 参加者の感想	12
10. ハワイ大学担当者のメッセージ	13
11. 2015 年度研修概要・編集後記	14



1. 教員あいさつ

海外への架け橋

法学部長 青野 寛

法学部では、2013 年度よりハワイ大学春期法学研修を実施しています。この研修では、ハワイ州唯一のロースクールである、ハワイ大学マノア校ウィリアム・S・リチャードソン法科大学院にて、英語で法律を学ぶだけでなく、州内の法律事務所、裁判所および政府機関への見学、州法律家協会の行事等を盛り込んだ充実した内容となっています。

ハワイは日系人が多いという特殊な土地柄で、観光地としても絶大な人気を誇る場所ですので、海外経験がないという方も比較的大きな不安を抱えることなく生活ができます。また、初めて海外留学する学生のために、事前のガイダンスや現地での通訳などのサポートが整っているので、英語力に不安のある学生も安心して参加できるプログラムです。

ぜひ、ハワイ大学春期法学研修に参加し、この研修で得られた経験をもとに国際的視野を広げ、海外への架け橋を築きましょう。

多文化共生時代に向けて

法学部専任教授 堀田 秀吾

この報告書は、2015 年度に実施された米国ハワイ大学マノア校における短期法学研修プログラムに参加した学生が作成した報告書です。参加者自身の体験を基に作成されたものですので、これから海外留学プログラムへの参加を検討している方々にもきっと参考になる情報が色々と詰まっていると思います。

ハワイ大学のプログラムは、私自身が立ち上げから過去3回の引率まで携わってきました。安全とはいえ、同時に外国ですから日本と異なる文化的要素もたくさんあったと思います。授業は、英語を学ぶというよりは、米国の法を学ぶことが主たる目的ですから、内容的にも大学の基礎教養科目で受講するような英語の内容とは大きく異なり、戸惑いも多かったかと思います。同時に、大変だったけれども得られたものも大きいでしょう。また、そういった異国の地で出会った人々、日本からの仲間とも確かな絆が築けたのではないかと思います。そういった経験や人とのつながりが、みなさんの今後の人生にいい影響を与えてくれると信じています。今後、多文化共生が当たり前になっていく社会において、これらのプログラムに参加したみなさんが、その知識と経験を生かして、活躍していかれることを願ってやみません。

2. ハワイ大学の紹介

◎ハワイ大学マノア校について

- ・ 1907 年創立
- ・ オアフ島のホノルルの北に位置
- ・ 敷地面積は和泉キャンパスの 180 倍以上で、とても広々としており、南国の雰囲気と相まってのんびりした空気が流れている
- ・ 留学生は全体の 6% おり (2015 年秋)
出身国は 126 カ国に及ぶが
アジア出身が一番多い
(実際、キャンパスで日本人をみかけました)
- ・ 米国内でのアジア研究がトップレベル
- ・ 様々な大学ランキングで上位 1.5% に常に入るとも優秀な大学
(ハワイ大学マノア校 HP 参照)



キャンパス風景！



和室もあります！



◎ウィリアム・S・リチャードソン 法科大学院

- ・ ハワイ大学マノア校に付属するロースクールであり、ハワイ州唯一のロースクール
(米国では法学部がないので、実質的にハワイで法学を学ぶ唯一の場所となります)
- ・ 専任の先生は 36 人であり、様々な国籍の先生で、国連人権委員会で働く先生もいるなど高い研究能力を持つ
- ・ 全米でも、環境法、ハワイ原住民法、アジア太平洋の各国法において高い研究レベルを誇る
- ・ ロースクール独自の図書館を持ち、生徒たちは 24 時間そこに入って勉強できる



3. プログラムの紹介

3 月中（春季休業期間）の
2 週間

概要

講義およびフィールドトリップを通して英語で法律を学ぶ短期海外留学プログラムです。初めて海外に行く人向けに引率の先生が通訳をさせていただきます。



期間

2016 年 2 月 27 日（土）～2016 年 3 月 13 日（日）

特色

講義

現地の大学の先生の講義を受けることができます。講義は基本的に英語で行われますが、わかりにくい部分は各大学の引率の先生が通訳をして、サポートさせていただきます。

放課後

講義は 15～16 時頃に終わることが多く、放課後オアフ島内を散策することができます。時間がたくさんあります。

他大学との交流

他大学（2015 年度は琉球大学、愛知大学、青山学院大学）の法学部生、法科大学院生と共に講義を受けるため、帰国後も交流できる関係を築けます。

ホームステイ

ホームステイではお客様としてではなく、家族の一員として生活します。家庭での使用言語は英語であるため、講義が終わった後も一日中英語漬けの生活を送ることができます。必然的に英語を話さなければならない状況になるため、英会話スキルの向上に繋がるでしょう。家庭によっては他国からの留学生を同時に受け入れていることもあり、ハワイ以外の学生との関わりを持つことができることもあります。また、週末にホストファミリーとビーチやショッピング等に出かけることもホームステイならではの楽しみの一つです。



4. ハワイでの生活

◇食事◇

ハワイといえば様々な食文化があり、おいしい料理はたくさんありますが、パンケーキとハンバーガーが特に印象に残りました。パンケーキは日本でもある「Eggs'n Things」で食べたのですが、とてもおいしかったのでなんと3回も行ってしまいました。ハンバーガーは「Teddy's Bigger Burgers」というところで食べました。一番大きいサイズを頼んで2人で分けると、肉に厚みが出てとてもおいしいのでお勧めです！また、大学にいるときは昼休みにみんなで昼食をとりますが、食べ物の種類が豊富にあるので、いろいろな食べ物を食べることができます。



◇交通手段◇



ハワイでの交通手段は車のほか基本的に「The Bus」と呼ばれるバスであり、電車は通っていません。大学に行くときやどこかに出かけるときに毎回バスを使っていました。乗る頻度が多いので、コンビニなどで一か月分の定期券を買うことをお勧めします。最初はバス停の名前を聞き取るのに苦労しますが、慣れれば簡単です。このバスはよく遅延するので、通学の際は授業に遅れないように注意してください！ちなみに私は50分前ぐらいに到着するように家を出ていました。

◇ホームステイ◇

ハワイ大学法学研修の大きな特徴とも言えるのは滞在方法がホームステイであるということです。使用言語が英語なので英語に自信がない人は不安になるかもしれませんが、何日か過ごしてみると絶対に慣れます！実際、私は最初の二日間はホームシックで毎晩心配していましたが、ホストファミリーはみんな優しいし、ご飯もおいしかったので、全力で楽しむことができました。どんなホストファミリーになるかどうかはそれぞれ変わりますが、どこのホストファミリーもいい人で楽しかったという声を聞きました。アクティブなファミリーだといろんなところに連れてってくれるので、それも楽しみの一つです！何よりも、挑戦することが大切です。今後長い期間のホームステイを考えてる人や、少しでも興味がある人は是非参加してみてください！

5. ハワイの魅力

ハワイには多くの観光名所があり、また様々なアクティビティを体験することもできます。わたしたちは自由行動の日に、クアロア・ランチという牧場でハリウッド映画の撮影地を巡るバスツアーに参加したり、ワイキキビーチでサーフィン体験をしたり、オアフ島北部のノースショアでは、スカイダイビングをすることができました。自由行動の日の観光の予約などはすべて自分達で行ったので積極的に英語を使う良い機会にもなりました。



また、自然が豊かなところもハワイの魅力の一つだと思います。天気の良い日の早朝には、ダイヤモンド・ヘッド頂上からの日の出を、夕方にはビーチからの夕日を見ることができます。ハワイの海は本当に綺麗で、ビ



ーチによっては野生の海ガメを見ることができるところもあります。ハワイ滞在の最終日には、学生みんなでハナウマ湾という海にシュノーケリングに出掛けました。そこでは、海の中で泳いでいる様々な種類の魚や海の生物をすぐ近くで見ることができ、日本ではなかなか体験できないような貴重な時間になりました。

ハワイは大自然に囲まれた島ですが、交通の便もよく、バスを乗り継いで行けば、ほとんどの行きたい場所は自分達だけで行くことができました。また、アラモアナショッピングセンターやワイキキビーチ周辺などは、お店がとても充実していて、ショッピングをするのにも困りません。海や山でレジャーを満喫することも、街で買い物を楽しむこともできます。



6. フィールドトリップ

1.State Circuit Court

連邦制をとるアメリカ合衆国では連邦裁判所と州裁判所という二種類の裁判所が存在します。まずは州巡回裁判所。ここでは実際に裁判を傍聴することができました。



2.Federal District Court

次は連邦裁判所。ここではなんと！実際法壇に座らせてもらうという貴重な経験をさせていただきました。また、判事さんにお話を伺いました。

3.Hawaii Supreme Court &Judicial History Museum

建物は1階が博物館、2階が最高裁判所になっていました。最高裁判所でも法壇に座らせていただきました。また、判事の Paula Nakayama さんにお話を伺いました。



4.Coodsill Anderson Law Firm

ハワイの法律事務所です実際にハワイにおいて活躍されている、弁護士さんたちのお話を伺いました。年収など踏み込んだ話題もありとてもためになりました。

5. State Capital of Hawaii

ハワイの行政府へ行き、ハワイ州知事、行政府で働いている人とお話してきました。ハワイ州知事には質問をさせていただきました、また一緒に写真も撮らせていただきました。この研修を通して、行政府の人々とは程遠い人間だと思っていた私も、距離が意外と近くて、「堅苦しい」人間なのかなと思っていたイメージが崩れました。州知事はとても気さくな方で、公務の忙しい中、お時間を作ってください、アメリカならではのサービス精神旺盛でフレンドリーな対応をしていただきました。



行政府
庁舎



州議会

6. Women's Community Correctional Center

女性刑務所を訪問しました。ハワイの女性刑務所では、収監されている人のことを犯罪者としてだけでなく、精神的、肉体的な被害者としてもみなしていたので刑務所というよりもまるで更生施設みたいでした。施設内は中庭があり、その周りを高校みたいに教室がいくつもありました。教室では歌を歌ったり、更生した他の囚人をたたえる会をしていたり、まるで学校の授業のようでした。監視官もとても怖い人なのかと思いきや、体形はがっしりしていましたが、とても気さくで優しく、囚人とフレンドリーに話していました。ここは本当に刑務所なのかと疑ってしまうほど、中はとても賑やかで明るい雰囲気に包まれていたことにとっても驚きました。



海がきれいな
カイルアなども
訪れました！！



7. レクチャー

多岐にわたる分野で活躍するハワイ大学の講師の方々の講義を体験できることが本法学研修の魅力の一つでもあります。

★講義の形式

講義は基本的に英語で行われますが、引率の先生方による通訳やバックグラウンドの説明があるので、英会話力に自信のない方でも十分に概略をつかみ理解できます。

また、ほとんどの先生がレジュメやパワーポイントを使用し講義を進めてくれるので、電子辞書等を用意し難しい単語を調べながら聞くとより理解が深まると思います。

★授業のスケジュール

授業の日は1コマ90分の授業が2コマ又は3コマあります。

キャンパス内や図書館のツアーなども行われ、またランチタイムには友達と食堂巡りをして気分転換もできるので、無理なくこなせる余裕のあるスケジュールです。

★授業の内容

前半の講義テーマ

アメリカ法のイントロデュース	日米の比較憲法
ネイティブハワイアンの権利	憲法 国際刑法 刑法

Mark A. Levin 先生による日米の比較憲法は、日本語を織り交ぜながらの楽しい説明とわかりやすい例え話がとても印象的でした。また写真や図をふんだんに使ったレジュメやパワーポイントも用意していただき、様々な観点から日米間の憲法の違いや、その違いが生じる理由を学ぶことができます。



後半の講義テーマ

同性婚	労働法	ビジネス・ロー	国際刑事法	エネルギー法
法律検索	環境法	アジアにおける人権	高齢者のための法	
交渉学				

後半は、特に専門的な法律を扱う科目が多く、労働法やビジネス・ローなどは日本でも似たような授業が設けられていますが、エネルギー法や高齢者を対象とした法律はアメリカの法律として非常に特徴的でした。また、交渉学では実際に他大学の学生とペアを組み、あるお題についてお互いに交渉し合うロールプレイングが用意されていました。このようにひたすら講義を聞いているのではなく、学生も授業に積極的に参加できるような形になっており、法学に楽しく触れることができます。

★講義を受けてみて

これらの授業を受けてみた学生として、特に感じたことを2つ紹介します。

1. 発言力の向上

普段の大学での法律の授業は大人数で行われることが多く、自分の考えを述べるような機会は滅多にありません。しかし、このプログラムは40人程度の少人数形式がとられるので積極的に疑問や意見を共有できます。法律ともう一度向き合うきっかけとして是非おすすめです。

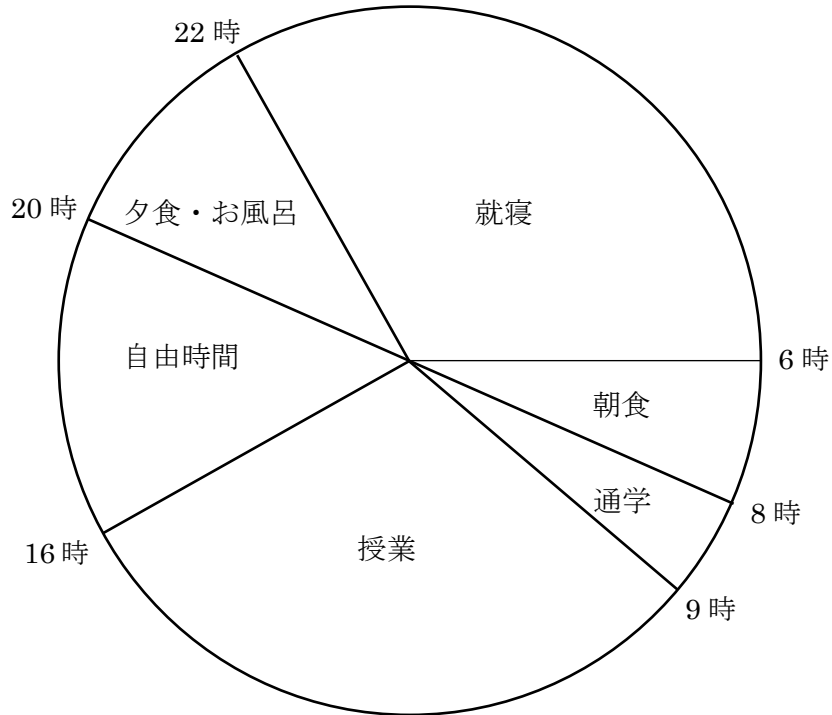
2. 語学力を高める

英語で授業を受ける中で、自分に足りない英語の能力を見つめ直すことができます。単語がわからない…、自分はリスニングが苦手なんだな…など、日本に戻ってから克服すべき課題を見つけ、これからの勉強に活かすことができます。



8. スケジュール

☆ある一日のスケジュール



1 日目 Free Day!!

ドキドキのホームファミリーとの顔合わせ。家に連れて行ってもらい、そのまま市内観光に連れて行ってもらいました。

2 日目～7 日目

授業の終わり時間はまちまちですが、大体上の図のような感じです。

早く学校が終わった日はワイキキで泳いだり、アラモアナで買い物をしていました。

8, 9 日目 Free Day!!

ホームファミリーと過ごす人もいたり、友達と出かけたりみんないろんな休日の過ごし方をしていました。

ちなみに、私は友達とノースショアに行ったり、スカイダイビングをしました。

10～14 日目

同じく授業。しかし、この週はフィールドトリップで様々なところに行きました。例えば、女性刑務所や行政府などです。

15 日目 Free Day!!

この日は大学のみんなとハナウマ湾というきれいな海岸に行って、シュノーケルをしました。

そして、ホームファミリーとの最後の夜を楽しみました。

9. 参加者の感想

・法学部2年女子(H・Y)

ハワイ大学短期法学研修に行って、私はたくさんの貴重な経験を得られました。ハワイの裁判所見学や刑務所訪問はもちろん、ハワイ大学で実際に法律を勉強できたことで、日本ではない別の国からの視点で憲法や刑法、民法、そして環境法を比較し学ぶことができたと思います。この経験を忘れずに今後に必ず生かしていきたいです。また、当プログラムの別の大きな特徴として、ホームステイがあります。ホームステイを通して、ホストファミリーと暮らしているときや、通学時に使うバスに乗るとき、お店で買い物をするなど、英語を欠かさず話していたことで、たくさん英語に触れられたと思います。会話が通じたときの喜びや、自分の英語力が低くてなかなか通じなくて悔しい思いを味わいました。この経験を忘れず、日本でもっと英語を勉強しようと思います。

・法学部2年女子(M・M)

この研修を通して改めてこのような経験はたびたびできることではないし、自分の意識が高まった研修になったと思いました。最初はホストファミリーのステイ先が一人だということを知り少し不安でしたが、いざ行ってみればホストマザーと仲良しになり今では毎日スカイプで連絡を取り合い、早くハワイに帰ってきて！なんて言われています。英語での生活や英語での勉強は慣れていましたが、アメリカの大学院で実際に授業をとるというのはとても刺激的でこれからの勉学をもっとがんばろうというモチベーションが湧きました。もともと大学で法学部に入っているところに就職できたらラッキーだと思っていた私でしたが、この研修において英語でアメリカの法律をとても意識の高い学生に囲まれたキャンパスで勉強して法律の道を極めるのも悪くないな。大学卒業したら本当にこのような環境でまた勉強したい！と正直思えました。フィールドトリップでは、数多くの稀にしかできない体験をし、休みの日にはホストファミリーと海へ行ってシュノーケリングやサーフィンをしたり、周りの友達とショッピングなどをしたりして楽しみ、「なんとなく時が流れている」感じではなく2週間毎日充実した日々を過ごすことができました。今この冊子を読んでいて迷っているのであれば是非この研修に行ってみた方がいいと思います。後悔は絶対にしないと思います！

留学生のみんなも
ワンダフルだったわん
BY ホームステイ先の
ワンちゃん



10. ハワイ大学担当者のメッセージ

本研修のハワイ大学の担当者、木村スペンサー先生からメッセージです！

スペンサー先生は、ハワイ大学法科大学院のご出身であり、母国語の英語はもちろんのこと日本語もお上手な方で、授業日とフィールドトリップの時にはいつもいて下さり心強かったです。

ハワイで困ったことがあったら相談に乗ったり、他大との交流のためのゲームをしたり、大学構内を案内したりと私達がハワイでより楽しく快適に授業を受けられるようにサポートして下しました。



Aloha Meiji University Students!

I would like to invite you to join us for the next Study Tour in Hawaii.

This is a great opportunity for you to learn about the American legal system at the University of Hawaii.

In just two weeks, you will learn from top law school faculty on a range of subjects, from Criminal Law to Business Law, to Environmental Law and more! You will also meet with judges, experience live trials, visit a law firm and go inside a real prison facility.

Best of all, you will have the chance to make friends with students from the University of Hawaii, Aoyama Gakuin, Aichi University, the University of the Ryukyus and Waseda University.

We look forward to welcoming you to the Program!

Spencer Kimura
Director

11. 2015 年度研修概要・編集後記

◎研修概要

○名称

ハワイ大学春期法学研修

○研修校

ハワイ大学マノア校ウィリアム.S.リチャードソン法科大学院

○期間

2016 年 2 月 27 日～2016 年 3 月 13 日

○滞在先

ホームステイ(原則、大学への通学時間が 1 時間以内)

なお朝食・夕食付

○研修費用

約 37 万円(現地で食事等を除く)

なお、法学部から 8 万円の助成あり

○参加人数

12 人(学部生 11 人、院生 1 人)

なお、琉球大、青山学院大、愛知大を含めると 41 人

○単位認定

研修後のレポートで判断し、翌年度集中法学部科目として成績評価を行い、

2 単位を付与

◎編集後記

・法学部 3 年(A・Y)

ハワイでの思い出は色々あります。面白い授業、温かいホームステイ先の家族と留学生、他大の友達との夕食、そして明大生同士で訪れたアラモアナショッピングセンター。どれもこれもよい思い出です。日本ではそうそう経験できないことばかりでした。そんな日本では味わえない経験ができる研修だなど、参加してみたいなど、これで思って頂ければ幸いです。

・法学部 2 年(R・K)

報告書を作っているとき、またこの研修に参加したくなるほどハワイが恋しくなりました。研修に参加したからこそ得られたものはたくさんありました。研修で体験したことすべてが今に活きていると思います。留学に行ってみたいが何ヶ月も滞在するのは長いから迷っている、海外の授業を受けてみたい、ハワイに行ってみたい、など動機は様々だと思います。この冊子が皆さんの参加への動機となれば嬉しいです。

Great Memories in Hawaii

